

取扱説明書

油圧矯正プレス安全ガード付

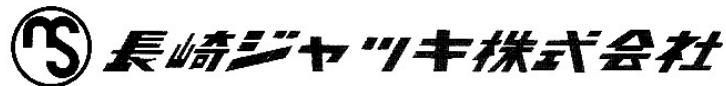
NSP-350AS（エア・手動兼用）

NSP-350GS（手動）

NSP-600AS（エア・手動兼用）

⚠ 警告

本製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつまでも使用できるように大切に保管してください。



取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求して下さい。

まえがき

このたびは、長崎の油圧矯正プレス安全ガード付をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用してください。
取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んで使用頂かないと、十分能力を発揮できないばかりか、
人身事故につながりますので、十分理解した上で、正しく使用してください。
お買い上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社まで問い合わせしてください。
尚、取扱説明書及び警告ラベル等の貼付ラベルは大切に使用してください。万一紛失・汚損された場合は速やかに
購入の上、正しく保管又は貼付してください。

警告

この取扱説明書では「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止の為の重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。

-  **警告**···取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重症を負う可能性が想定される場合。
-  **注意**···取り扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合及び物的
損傷のみ発生が想定される場合。

1. 使用目的

この油圧矯正プレス用安全ガード(以下安全ガード)は、油圧プレスの加圧によってワークや治具などの飛散を防ぐことを目的とした製品です。

2. 警告・注意事項

この安全ガードをご使用いただく上での人身事故を防止する為の重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読み理解してから使用してください。

2-1 警告事項

⚠ 警告

	<p>取扱説明書をよく読み、理解してから使用すること。 重要な警告事項が説明されています。警告事項に従ってください。 ※重大な事故につながります。</p>
	<p>操作は、操作方法を熟知した人以外は使用禁止。 ※誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。</p>

2-2 注意事項

⚠ 注意

一般的な注意事項

1. 使用目的以外の使用禁止。
2. 安全ガードの改造は禁止。
3. 設置場所は、屋内の平坦で強固な床上に設置すること。
4. 製品の移動の際は必ず、安全ガード固定金具を取り付けて移動すること。

使用上の注意

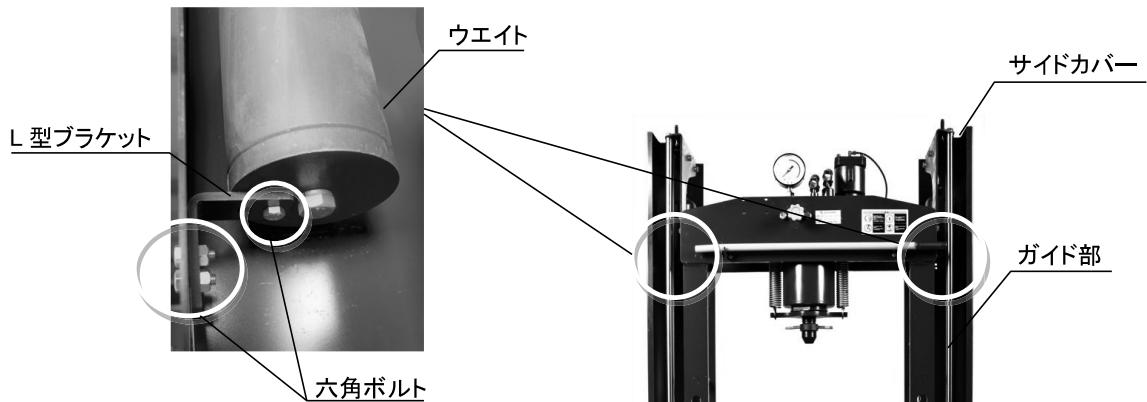
1. 作業前に必ず始業点検を行うこと。
2. 安全ガードは必ずロックツマミで固定して作業すること。
3. 安全ガードの上下移動は必ず取手を持ちながら行うこと。
4. 安全ガードの上下移動はゆっくり行うこと。
5. 安全ガードの操作中は他の人を近付けたり、わき見運転は絶対禁止。
6. 安全ガードの保管は必ず、最低位まで下げてロックツマミで固定すること。

3.各部の名称及び安全ガード固定金具の外し方

輸送中にウエイトが振動しないように安全ガードを固定しております。以下の手順で固定金具を取り外してご使用ください。また、製品移動の際は固定金具を取り付けて移動する為、固定金具は大切に保管してください。

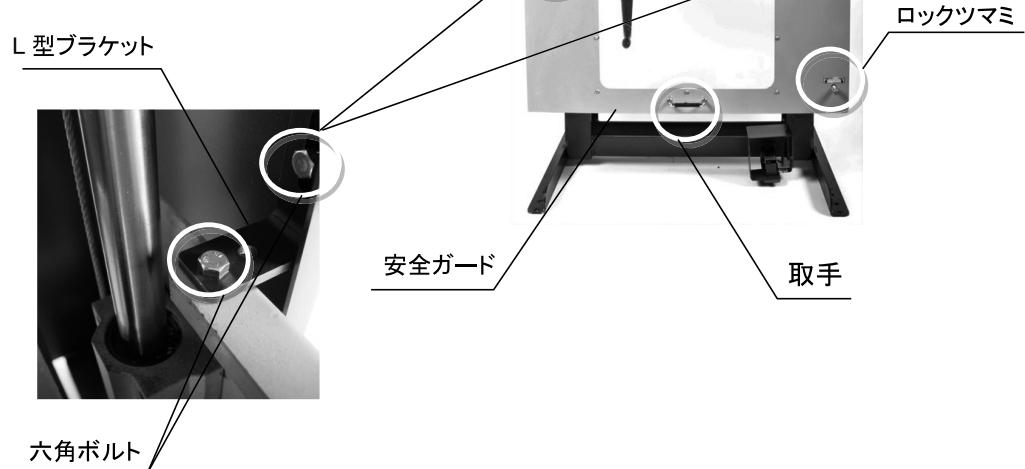
1) サイドカバー背面のウエイトを 固定している

六角ボルトとL型ブラケットを外してください。



2) 安全ガードとサイドカバーを固定している

六角ボルトとL型ブラケットを外してください。



4.設置場所

設置場所は、屋内の平坦で強固な床上に設置してください。

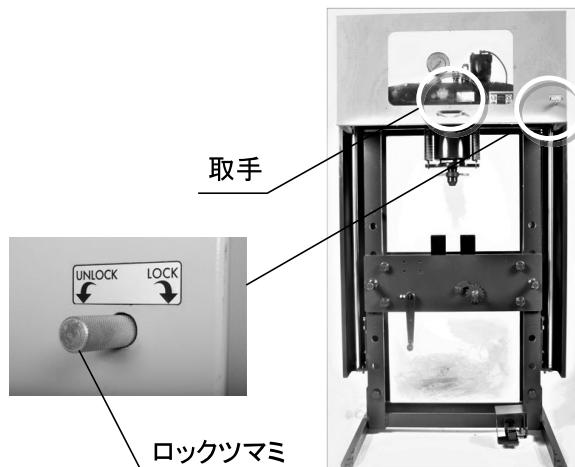
注意

- 1.設置場所は必ず平坦で強固な床上に設置してください。傾斜の床上ですと、安全ガードが正常に作動しなくなり、破損及び重大な事故につながる危険があります。
- 2.製品の移動の際は必ず、安全ガード固定金具を取り付けて移動してください。固定金具が無いとウエイトが振動し安全ガードが破損します。

5.安全ガード使用方法

1) テーブル位置の調整、作業物をセット

1. 取手を持ちロックツマミを反時計回り(UNLOCK 方向)に回してロックを解除してください。
2. 安全ガードを最高位までゆっくりと上げてください。
3. ロックツマミを時計回り(LOCK 方向)に回して安全ガードを固定してください。
4. テーブル位置の調整(別紙の取扱説明書参照)後、作業物をセットしてください。



2) 作業物を加圧

1. 取手を持ち安全ガードのロックを解除してください
2. 飛散防止をする位置まで安全ガードをゆっくりと移動してください。
3. 安全ガードをロックツマミで固定してください。
4. 作業物を加圧してください。
5. 加圧後、取手を持ち安全ガードのロックを解除してください。
6. 安全ガードを最高位、または最低位までゆっくりと移動してください。
7. 安全ガードをロックして作業物を取出してください。



3) 作業終了後、保管

1. 取手を持ち安全ガードのロックを解除してください
2. 安全ガードを最低位までゆっくりと下げてください。
3. 安全ガードをロックして保管してください。



⚠ 注意

1. 安全ガードは必ずロックツマミで固定して作業してください。固定しないと作業中に安全ガードが動きだしケガをする危険があります。
2. 安全ガードの上下移動は必ず取手を持ちながら行ってください。取手以外の場所を持つと手が挟まれケガをする危険があります。
3. 安全ガードは最高位、または最低位にゆっくりと移動させてください。勢いをつけて移動させると安全ガードが破損する危険があります。

6.定期点検

安全に使用して頂く為に、必ず定期点検を実施してください。

点検期間	点検箇所	点検項目	点検方法	保守要領
2週間	安全ガード、サイドカバー ガイド部	・破損、変形、磨耗	目視	破損、変形、著しい磨耗は交換
	ウエイト用ワイヤー	・よじれ、ほつれ、 固定金具の緩み	目視	破損、変形、著しい磨耗は交換
	各ネジ部	・破損、変形、緩み	目視	緩みは増し締め、破損、変形は交換

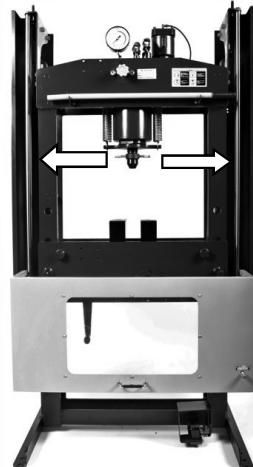
⚠ 注意

- 1.点検の結果、異常が発見された場合には、安全ガードの使用を禁止して、お買い上げ販売会社へ連絡していただき、処置を受けてください。
- 2.増し締めを行う場合は(別紙の取扱説明書参照)ねじの締め付けトルク欄を目安に増し締めを行ってください。

7.可動部への給油

※可動部への給油は2週間に1度以上行ってください。

グリース:スプレー式グリース等、浸透性の良いグリースを
使用してください。



↓ 部は給油箇所
(潤滑油又はグリース)

8.故障と処置

故障かなと思われる前にもう一度確認して下さい。異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不具合な場合はお買い上げの販売会社へ相談してください。

症状	原因	処置
安全ガードが動かない	ガイド部に異物がある。	ガイド部の清掃、給油
安全ガードが下がる	ロックツマミが完全に締まっていない。	ロックツマミを確実に締める。

9.仕様

型式	能力 (ton)	ラム揚程 (mm)	ねじ揚程 (mm)	駆動方法	早送り手動ポンプ 汲み込み回数	エア圧 (Mpa)	フレーム 内幅 (mm)	全高 (mm)	ベース 寸法 (mm)	重量 (kg)	ヤケン台 寸法 (mm)
NSP-350GS				手動 (ダブルピストン)	約 57 回 (全揚程)	-	620	1,822	898x780	304	89x65 x210
NSP-350AS	35	150	100	エアー・手動 (ダブルピストン)	約 109 回 (全揚程)	0.7 ~ 0.96	1,100	1,822 1,955		309	
NSP-600A	60	160	150	兼用				1,468x 1,000		885	147x69 x284

(品質向上のため予告なく仕様は変更する事があります)

お問い合わせは

販売会社名

販売会社へのお願い、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

長崎ジャッキ株式会社

〒447-0854

愛知県碧南市須磨町 5 番地 2

TEL 0566-41-1482

FAX 0566-42-0709